

事業所名

ぴかいち

支援プログラム（公表）

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人理念 支援方針		子どもたちにとって遊びとは、興味があること・夢中になることをトコトン行うことができる時間です。いろいろな体験をまずは遊びから徐々に導入していきます。成長するための必要な基礎（土台）づくりを大切に育てていきます。さらに子ども自身で遊びや生活力を獲得していくプログラムを実施します。人間関係や自然環境、命の大切さなど、実体験を通じて人間社会にとって必要なことを学ぶことができる場であると考えます。		
営業時間		平日	9時00分から19時00分まで	送迎実施の有無
		土曜日および長期休暇期間	9時00分から18時00分まで	あり
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のご利用の中で、こどもや保護者とのコミュニケーションにより体調や食欲、排泄、就寝等の状況を確認し、こどもたちの健康な心と身体を育み、健康で安全な生活が過ごせるように支援を行います。また、睡眠、食事、排泄等の基本的なリズムを身に付けられるように、活動の反復により支援を行います。</li> <li>日常生活や社会生活を豊かにするため、それぞれのこどもに適した身体的、精神的、社会的な支援を検討し、食事や衣類の着脱、排泄、体調管理等の生活に必要な基本的動作ができるように支援を行います。また、それぞれのこどもの特性に配慮して、さまざまな活動を通して学習できる環境を整えます。</li> </ul> <p>⇒適切にトイレに行き排泄できたり、適切な食器を使って食事が行えるように支援を行います。</p> <p>⇒指導員と生活の様子（就寝時間や起床時間等）を確認し、本人が生活リズムを整え、活動に参加できるように支援を行います。</p> <p>⇒活動準備（手洗い・検温・荷物整理など）や持ち物の確認、身支度等を自ら取り組むことができるように支援を行います。</p>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善、筋力の維持・強化を図ります。また、姿勢保持や運動・動作が困難な場合には、さまざまな補助用具等を活用して、姿勢保持や運動・動作、移動能力の向上のための支援を行います。</li> <li>本人の視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように、活動を通して支援を行います。また、それぞれのこどもの感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、周辺環境の調整を行い、自身の感覚にあう環境調整ができるように支援を行います。</li> </ul> <p>⇒活動で使用する用具を握ったり、触ったりして、指先を使った活動に取り組めるように支援を行います。</p> <p>⇒うまく活動に取り組めない時には、指導員が補助することで継続的な活動が行えるように支援します。</p>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺環境から物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念、数量、大きさ、重さ、色の違い等の情報を収集して認知する機能の発達を促す支援を行います。また、入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮します。</li> <li>認知した情報から必要なものを選択し、行動につなげる手掛かりとして活用できるように認知過程の発達の支援を行います。また、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動を予防して、適切な行動ができるように支援を行います。</li> </ul> <p>⇒「好きな感覚」は楽しみとして満たしながら、「新しい感覚」や「好きではない感覚」に取り組むことができるように支援を行います。</p> <p>⇒必要な情報や不要な情報を取捨選択できるように支援を行います。また、プリントを拡大印刷して提供したり、タブレット端末等で情報の提供を行います。</p> <p>⇒時計等を使って指導員と次の活動予定を確認することで、場面の切り替わりにおいて本人が自信を持って活動できるように支援を行います。</p>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付けることにより、言語の取得や自発的な発声を促す支援を行います。また、お友だちや職員との関わりを通して、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする等のコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。</li> <li>文字、記号、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択・活用し、それぞれのこどもの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。また、身振りやサイン等の多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるように支援を行います。</li> </ul> <p>⇒歌や絵本等を使って、言葉に触れる機会を増やしていく支援を行います。また、物の名前や挨拶、日常会話を理解してお話ができるように支援を行います。</p> <p>⇒さまざまな体験を通して発語の支援を行います。また、ジェスチャーを言葉に添えたコミュニケーションを増やすことで会話の理解を深めることができるように支援を行います。</p> <p>⇒お友だちや指導員との関わりが多く持てるように支援を行います。また、相手からの情報を正確に読み取れていない時やなかなか自身の想いを伝えられない時には、指導員が間に入り支援を行います。</p>		

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お友だちや職員と信頼関係を築き、周囲の人々と安定した関係を形成することや、活動を通じて周囲の人々の動きを模倣することで社会性や対人関係を理解し、良好な関係を築くことができるように支援を行います。</li> <li>• 自分の行動の特徴を理解するとともに気持ちや情動の調整ができるようになることで、役割分担やルールを守って活動することに慣れ、集団活動に参加するための手順やルールを理解することで、社会性の発達を支援します。</li> </ul> <p>⇒お友だちと一緒にさまざまな活動を行い、うまく取り組めない時は指導員が入り、本人の分かりやすい方法で取り組むことができるように支援を行います。</p> <p>⇒指導員やお友だちをモデルとしてさまざまな体験を通じて成功体験を増やしていく支援を行います。</p> <p>⇒本人にとって納得ができない状況が発生した場合には、指導員と一緒に状況を整理することで気持ちを受け止め、次に同様の場面が起きた際に受容できるように支援します。</p>		
	家族支援	<p>ご家族から子育てに関するお悩みについてご相談をいただいた場合には、面談時だけでなく、随時お話をさせていただく機会を設けております。</p> <p>また、保護者会や地域の親の会への支援を通して、保護者同士で交流し、情報交換いただける場を提供しております。</p> <p>さらに、きょうだいでご利用いただけるプログラムも提供することで、きょうだい支援にも取り組んでおります。</p>	移行支援	<p>就学前後等の移行時において、こどもや保護者からご相談をいただいた場合には、進路に関わる情報提供を行っております。</p> <p>また、保護者の合意をいただいた場合には、園や学校、就労先等と情報共有させていただくことで、円滑に移行ができるよう支援を行っております。</p>
	地域支援・地域連携	<p>保護者の同意を得たうえで、園や学校、医療機関等の関係機関と連携し、支援に必要な情報共有を行っております。</p> <p>また、個別支援計画の作成においても、関係機関と情報共有した内容を活用することで、適切な支援を行うことができるよう取り組んでおります。</p>	職員の質の向上	<p>社内での研修を通して、安全計画や虐待防止、感染症対策等、さらに、地域のこどもたちの特徴への理解を深め、支援につなげております。</p> <p>また、社外の研修へも定期的に参加することで、施設内では得られない知識や技術を習得し、支援の質の向上を図っております。</p>
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「お出かけ」、「工作」、「調理」、「季節行事」、「運動遊び」等の行事を実施しております。</li> <li>• ひな祭り、七夕、ハロウィン、クリスマス等の各季節を感じる可以由る行事を実施することで、情操教育へつなげております。</li> <li>• 各行事には地域の方々や企業ボランティアにもご協力いただき、施設外の方々との交流も行っております。</li> </ul>		